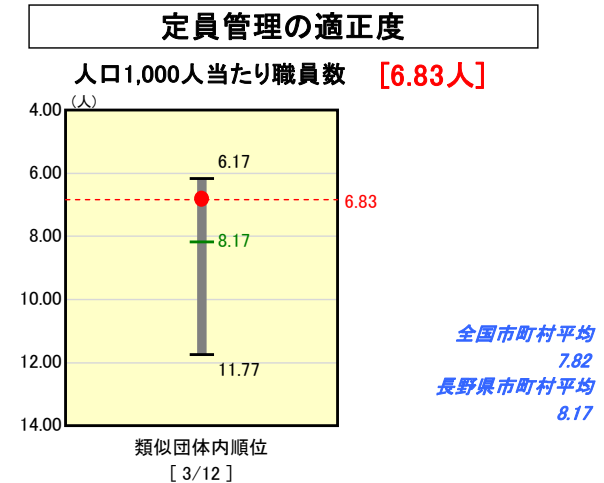
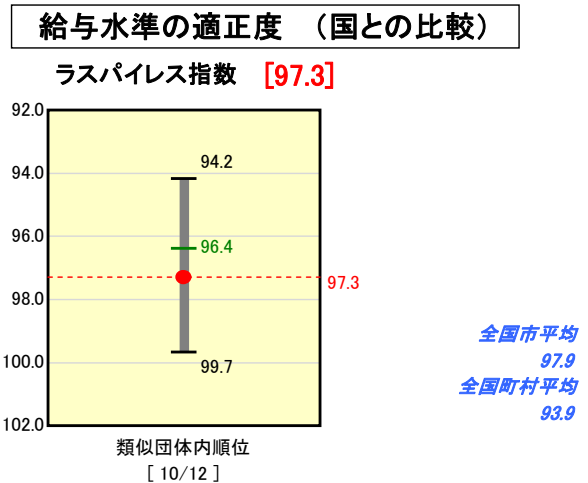
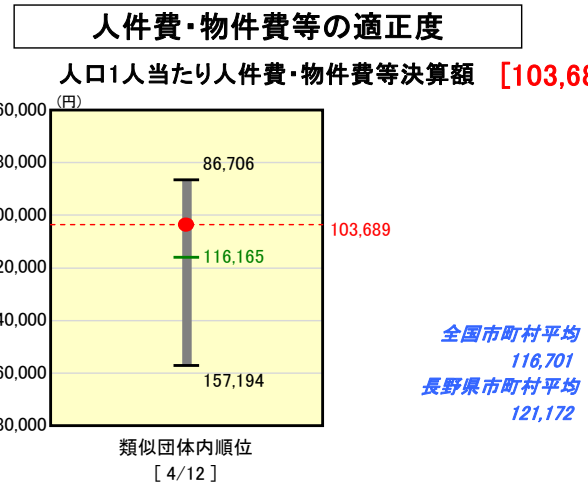
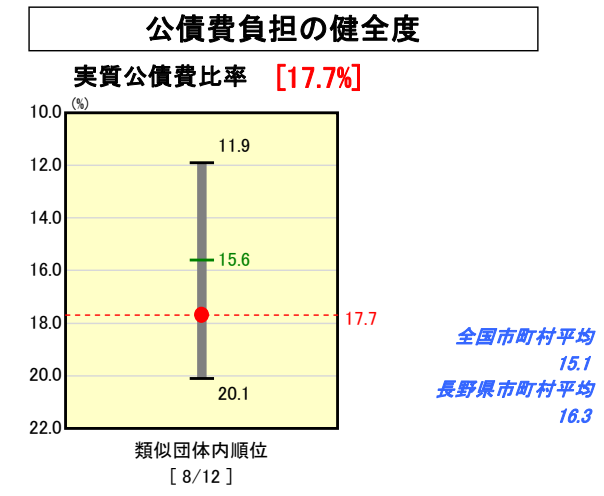
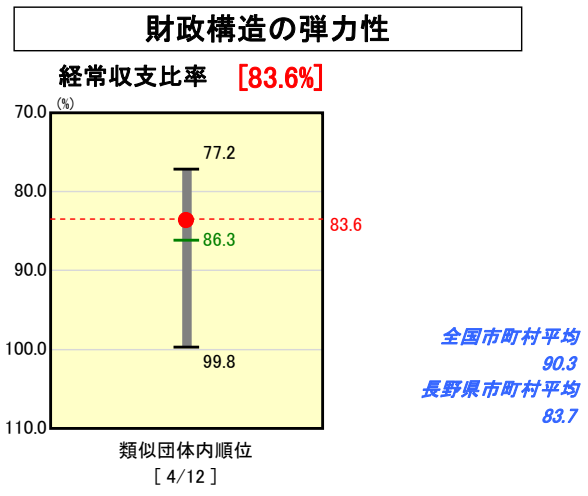
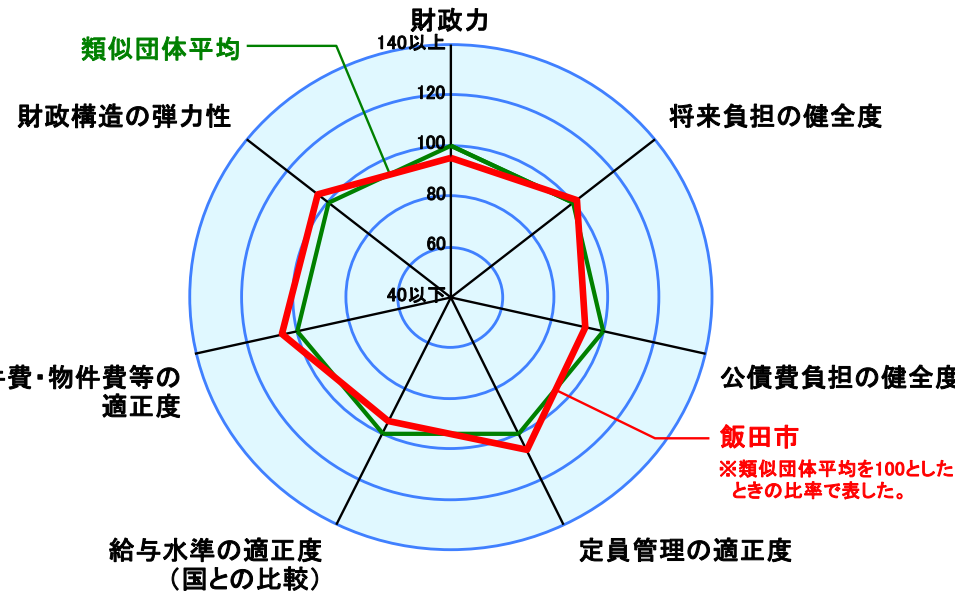
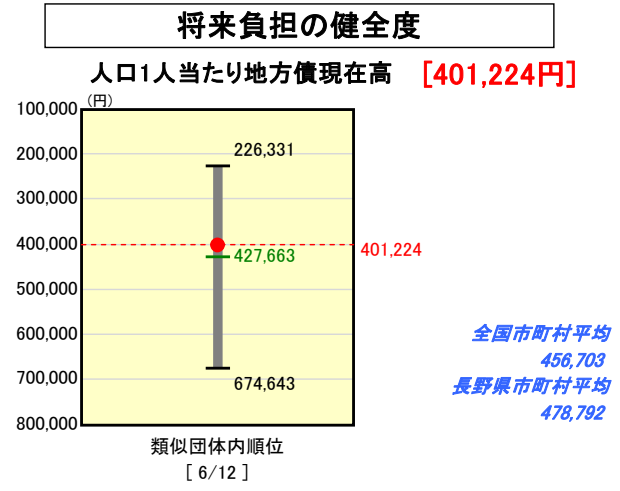
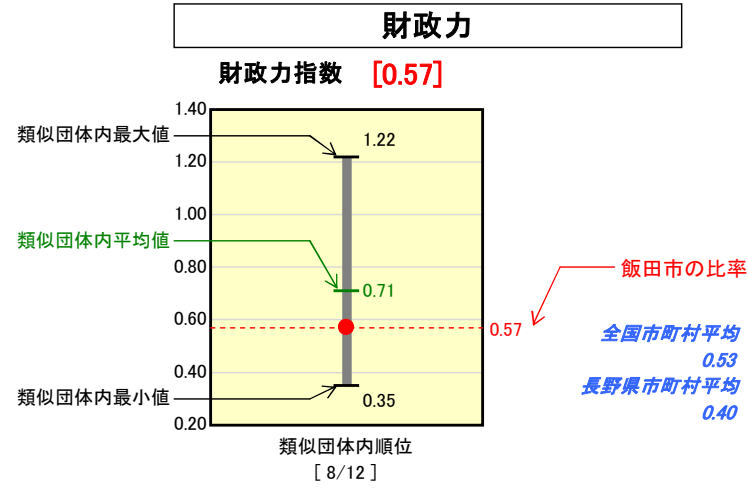


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

長野県 飯田市

人口	107,234人	(H19.3.31現在)
面積	658.76	km ²
歳入総額	40,781,624	千円
歳出総額	39,648,214	千円
実質収支	724,295	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数	: 類似団体平均を下回っているが、前年と比べやや上昇した。歳入のうち、税収が占める割合が他団体より低いため、財政基盤の強化が必要である。	地方債残高	: 普通会計の残高はピークを超えており、今後も減少していく見込みである。引き続き、返済額より借入額を抑える方針のもと、残高を減らしていく。
経常収支比率	: 上昇傾向に歯止めをかけることができた。合併による行政の効率化や引き続き行財政改革の成果が現れていると言える。類似団体や県内各市を含め、全国的に上昇しており、今後も注視が必要である。	実質公債費比率	: 類似団体や県内各市と比べ、高い数値となっている。この原因として、市立病院建設や市民皆水化へ向けた下水道事業の元利償還金への負担が要因としてあげられる。今後は、公的資金補償金免除繰上償還制度を活用することで、数値は良化していくものとする。
人口1人当たり人件費・物件費等決算額	: 平成10年度からの財政改革の効果により、類似団体の上位に位置している。		
ラスパイレース指数	: 退職者不補充などにより、職員数は類似団体のなかでもかなり少ない方に位置する。今後も定員適正化計画に基づいて管理していく。		
人口1,000人当たり職員数	: ラスパイレース指数は、昨年と比べ0.4ポイント低下した。		